

2025 年 11 月 12 日
パーソルエクセルアソシエイツ株式会社

米不足の今、特例子会社が挑む“共生”の稲作

～ 障害のある社員とともにぺあ農園 富田林で 1.4 トンを収穫 ～

総合人材サービスのパーソルグループの特例子会社でオフィスサービス・クリーンサービス・パティスリー・アグリ事業を手掛けるパーソルエクセルアソシエイツ株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：伊藤卓郎、以下パーソルエクセルアソシエイツ）では、アグリ事業の一環としてぺあ農園 富田林で稲作に取り組んでいます。

全国的な米不足が懸念される中、今年は昨年の約2倍となる2,700㎡の田んぼで稲作を行い、10月23日に収穫を終えました。収穫量は約1.4トンを見込んでおり、地域農業の活性化を推進しています。



■パーソルエクセルアソシエイツのアグリ事業について

パーソルエクセルアソシエイツのアグリ事業部では、障害のあるメンバーが中心となり、富田林市および岸和田市の農園で、1年を通じて野菜や米などの作物を栽培・収穫・販売まで一貫して行っています。

ぺあ農園 富田林では、米のほかにもタマネギ、ナス、キュウリ、ホウレンソウ、イチゴ、海老芋など多様な作物を生産。地域の特産品である海老芋は、京都や東京の料亭にも納入実績があります。また地元の学校給食やスーパーへの安定供給を通じて、地産地消に取り組み、地域の食と健康を支えています。

■障害のあるメンバーによる畔作り・修繕作業

稲作の現場では、障害のあるメンバーが田んぼに水を溜めるための畔（あぜ）作りや修繕といった重要な作業を担いました。畔が崩れたり、モグラに穴をあけられたりすると水が溜まらず稲作ができません。そのため、

メンバーは土嚢を作り畔の補修を行い、水をせき止める畔シートを設置するなど、土木作業にも積極的に取り組みました。

こうした地道な作業を通じて、チームワークや一人ひとりの強みを活かしながら、安心・安全な米づくりが実現しました。今年は記録的な猛暑となりましたが、河川からの豊富な水を水路経由で田んぼに供給できたため、日照りによる影響もなく稲は順調に生育しました。

■稲の成長の様子



6月10日 田植え



8月22日 順調に生育中



9月8日 稲が色づいてきました

■今後の取り組み

パティスリー事業部との連携を通じて、収穫した米を米粉として活用したお菓子の開発や、パーソルグループ各社のギフト利用にも活用していく予定です。

パーソルエクセルアソシエイツは、障害のあるメンバーの活躍の場を広げるとともに、「食」を通じて地域社会に貢献し、安心・安全な農産物の安定供給を目指してまいります。

■パーソルエクセルアソシエイツ株式会社について < <https://pea.persol-group.co.jp/> >

パーソルエクセルアソシエイツ株式会社は、大阪を拠点とするパーソルグループの特例子会社として、オフィスサービス（事務・印刷）、クリーンサービス（清掃・軽作業）、パティスリー（焼き菓子製造）、アグリ（農業）の4つの事業を展開しています。「ともににはたらき、成長する。」をミッションに、障害のある方の多様な就労と成長の実現を目指しています。

報道機関からのお問い合わせ先

パーソルエクセルアソシエイツ株式会社

(パーソルテンプスタッフ株式会社 ブランドコミュニケーション室内) 松坂

TEL : 070-4208-9845 MAIL : pts-pr@tempstaff.co.jp